

打てば響く情報提供

2009/7/8

Bがない

問題点

学生、職員ともにICTを
利用しきれていない

現状の情報提供手段・ルート

手段 ポータルサイト
 携帯電話
 紙媒体(ポスター、ビラ等)
 学内放送
 オリエンテーション

発信ルート 職員 → 学生
 職員 → 教員 → 学生
 職員 → 父兄 → 学生
 職員 → 学生(先輩) → 学生

学生側の問題

・情報が多く、学生が必要な情報
を選択しきれていない

・見ない(見られない)学生がいる
→窓口に来ない

・学生の意識

職員側の問題

- ・職員と学生との感覚のずれ
 - ・ポータルサイトに掲示したら見てくれると思っている
 - ・実際には見ていない学生が多い
-
- ・ポータルサイトに掲載した内容は教職員間で共有化されているのか？

解決策

情報に関する意識改革

学生を受身にさせない
職員は発信するだけで満足しない

<学生の意識改革>

解決策

- ・情報とは？その意義、重要性を理解させる
- ・情報活用の方法を周知させる
- ・情報を自分で選択できるようにさせる

具体例

ポータルサイトの存在を教え、
自主的に確認させる

ポータルサイトのオプション設定は
個人の選択に任せる

上級生から情報収集の仕方を説明してもらい、
利便性を強調する

情報リテラシー等の授業

＜職員を意識改革＞

解決策

- ・情報に適した発信手段、デザイン
- ・職員間で学生向けアナウンスの共有
- ・情報発信後のアフターケア

具体例

各情報発信手段の特性を活かす

- ・ポータルサイト...細かく説明したい、基本ツール
- ・携帯電話...補助的手段
- ・紙媒体(ポスター、ビラ等)...ポータルサイトとの併用、必ず手渡したいなど
- ・放送...緊急性のあるときなど
- ・オリエンテーション...具体的に説明、話す対象が明確

職員のイントラネットに学生向けアナウンスも投稿する

結論

- ICTは便利 しかし万能ではない
→従来の手段を組み合わせることで
より効果的な情報提供
- 発信者・受信者 両者の意識改革が必要

ご清聴ありがとうございました